



# 保健師職能委員会だより



平成27年3月

平成26年度保健師職能集会 12月13日(土) in 滋賀県看護研修センター

## 『保健師指針の実践～地区担当制をどう進めるかを考える～』

発表者： 湖南省健康政策課 服部昌美 さん  
 大津市保健所健康推進課 藤本亜由美 さん  
 コーディネーター： 聖泉大学看護学部 原田小夜 さん

経験年数の若い人から大ベテランの方まで、保健師50名の参加がありました。最初に「地区担当制に取り組んでいる地域から学ぼう」ということで、2人の方に事例発表をしていただきました。その後のグループワークでは、経験年数の近い保健師同士で「私が考える保健師活動、そして地区担当制とは」「地区担当制を進めるために私が取り組むこと」をテーマに話し合いました。

地区担当制をするのは、今しかない！！  
 地区担当制というイメージが若い人になのが大変。  
 生活を見るという「生活」がイメージできない。  
 地区担当制をして、家族を見る、周りを見る。わからないことを勉強する。  
 データを見て、課題をいうことができない。データの背後にある生活を見ることが大切。先輩とディスカッションすると地域が見えてくる。ベテランが若い人を育てる。人材育成が必要。  
 地域を統合するということができるように仕組みを作る。



原田さんより

### 【私の考える保健師活動、 そして地区担当制】

- 自分の地区に責任を持つ。アンテナ立てて、住民さんを見られるようにする。  
数字からは見えないような地域の情報が大切。
- 地区特性をふまえて活動する。  
地域診断をみえる化して、引き継ぐ。
- 個で見ているだけでなく、家族で見ているかが地区分担との違い。
- 分散配置の中で人数少なくても、行政の中でまわりとの関係性をうまく作っていく。

### 【地区担当制を進めるために 自分が取り組めること】

- 地域の人と顔見知りになり、保健師の仕事を知ってもらう。  
意識して地域に出て行く。  
住民さんからパワーをもらえる！
- 保健師で集まって、日頃のさまざまなことを話せる。  
年代別にも集まって、話す場をもつ。  
地区担当イメージをお互いに話し合う。
- ジョブローテーションが大切！  
キャリアを積む。それぞれが自覚を持って、研修を受講する。

お互いの悩みなども話し合えて、共有でき、ストレス発散にもなったようでした。次年度も開催予定ですので、ぜひご参加ください。テーマは検討中です。

**一人一人の力は小さいけれど  
力を合わせれば 大きな力になるから  
あなたの声や力を 滋賀県看護協会へ  
届けてください！！**

一人では変えられないことも。看護職全体の声として、本会が代表し、国や社会に働きかけていくことで、改善へと進めることができます。

みなさんがやりがいをもって、キャリアを重ねていけるように、また仕事と出産、子育てを両立できるように、本会は様々な事業を展開していきます。

## **ただいま滋賀県看護協会保健師職能募集中！**

**(詳しくはお近くの職能委員まで)**

＜会員数＞H26年12月10日現在

	第1地区	第2地区	第3地区	第4地区	第5地区	第6地区	第7地区	県外	合計
保健師	90	56	53	14	53	19	27	1	313
助産師	105	39	8	17	17	41	11	3	241
看護師	2138	1521	435	830	670	1114	182	19	6909
准看護師	59	29	20	54	66	12	19	0	259
合計	2392	1645	516	915	806	1186	239	23	7722

看護協会の中で保健師活動を考えられるのは保健師職能です。ぜひ、会員になって、来年度は参加しましょう。

第1地区：大津市

第2地区：草津市、守山市、栗東市、野洲市

第3地区：甲賀市、湖南市

第4地区：東近江市、近江八幡市、日野町、竜王町

第5地区：彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町

第6地区：米原市、長浜市

第7地区：高島市

